

「令和6年度中小企業診断士1次試験」経営情報システム 訂正のご案内

教材に関して以下の誤りまたは不十分な記述がありました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

■R02～R06 1次科目別過去問題集経営情報システム (NU25215)

■R03～R07 1次科目別過去問題集経営情報システム (NU26215)

■令和6年度診断士1次試験解答解説 (NU25150)

更新日	訂正箇所	誤	正																												
26.7.1	解説 第7問																														
	(訂正前)																														
	正規化とはデータベースの冗長性をなくし、一貫性を持ったデータ形式にすることである。																														
	第一正規形																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>受注番号</th> <th>受注日</th> <th>得意先コード</th> <th>商品コード</th> <th>受注数量</th> <th>単価</th> <th>合計金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10001</td> <td>2024-04-01</td> <td>3011</td> <td>A</td> <td>5</td> <td>1000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10001</td> <td>2024-04-01</td> <td>3011</td> <td>B</td> <td>1</td> <td>2000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10001</td> <td>2024-04-01</td> <td>3011</td> <td>C</td> <td>2</td> <td>3000</td> <td>13000</td> </tr> </tbody> </table>	受注番号	受注日	得意先コード	商品コード	受注数量	単価	合計金額	10001	2024-04-01	3011	A	5	1000		10001	2024-04-01	3011	B	1	2000		10001	2024-04-01	3011	C	2	3000	13000		
受注番号	受注日	得意先コード	商品コード	受注数量	単価	合計金額																									
10001	2024-04-01	3011	A	5	1000																										
10001	2024-04-01	3011	B	1	2000																										
10001	2024-04-01	3011	C	2	3000	13000																									
	第二正規形																														
	部分関数従属している列を切り出し、従属関係を分離する。																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>受注番号</th> <th>受注日</th> <th>得意先コード</th> <th>合計金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10001</td> <td>2024-04-01</td> <td>3011</td> <td>13000</td> </tr> </tbody> </table>	受注番号	受注日	得意先コード	合計金額	10001	2024-04-01	3011	13000																						
受注番号	受注日	得意先コード	合計金額																												
10001	2024-04-01	3011	13000																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>受注番号</th> <th>受注日</th> <th>商品コード</th> <th>受注数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10001</td> <td>2024-04-01</td> <td>A</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>10001</td> <td>2024-04-01</td> <td>B</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>10001</td> <td>2024-04-01</td> <td>C</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	受注番号	受注日	商品コード	受注数量	10001	2024-04-01	A	5	10001	2024-04-01	B	1	10001	2024-04-01	C	2														
受注番号	受注日	商品コード	受注数量																												
10001	2024-04-01	A	5																												
10001	2024-04-01	B	1																												
10001	2024-04-01	C	2																												
	第三正規形																														
	主キー以外の列に関数従属している列を切り出す。																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>受注番号</th> <th>受注日</th> <th>得意先コード</th> <th>合計金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10001</td> <td>2024-04-01</td> <td>3011</td> <td>13000</td> </tr> </tbody> </table>	受注番号	受注日	得意先コード	合計金額	10001	2024-04-01	3011	13000																						
受注番号	受注日	得意先コード	合計金額																												
10001	2024-04-01	3011	13000																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>受注番号</th> <th>受注日</th> <th>商品コード</th> <th>受注数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10001</td> <td>2024-04-01</td> <td>A</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>10001</td> <td>2024-04-01</td> <td>B</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>10001</td> <td>2024-04-01</td> <td>C</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	受注番号	受注日	商品コード	受注数量	10001	2024-04-01	A	5	10001	2024-04-01	B	1	10001	2024-04-01	C	2														
受注番号	受注日	商品コード	受注数量																												
10001	2024-04-01	A	5																												
10001	2024-04-01	B	1																												
10001	2024-04-01	C	2																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>商品コード</th> <th>単価</th> <th>得意先コード</th> <th>得意先名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>1000</td> <td>3011</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>2000</td> <td>1022</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>3000</td> <td>2033</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	商品コード	単価	得意先コード	得意先名	A	1000	3011		B	2000	1022		C	3000	2033															
商品コード	単価	得意先コード	得意先名																												
A	1000	3011																													
B	2000	1022																													
C	3000	2033																													
	よって、アが正解である。																														

(訂正後)

正規化とはデータベースの冗長性をなくし、一貫性を持ったデータ形式にすることである。

◆第1正規形

繰り返し項目をなくし、すべてのセルに1つの値が入るようにする。

受注番号	受注日	得意先コード	商品コード	受注数量	単価	合計金額
10001	2024-04-01	3011	A	5	1000	13000
10001	2024-04-01	3011	B	1	2000	13000
10001	2024-04-01	3011	C	2	3000	13000
10002	2024-04-01	1022	B	4	2000	11000
10002	2024-04-01	1022	C	1	3000	11000
10003	2024-04-02	2033	A	6	1000	15000
10003	2024-04-02	2033	C	3	3000	15000

◆第2正規形

部分関数従属している列を切り出し、従属関係を分離する。

(受注ヘッダ)

受注番号	受注日	得意先コード	合計金額
10001	2024-04-01	3011	13000
10002	2024-04-01	1022	11000
10003	2024-04-02	2033	15000

(受注明細)

受注番号	商品コード	受注数量
10001	A	5
10001	B	1
10001	C	2
10002	B	4
10002	C	1
10003	A	6
10003	C	3

(商品マスタ)

商品コード	単価
A	1000
B	2000
C	3000

◆第3正規形

第2正規形を満たした上で、主キー以外の項目に従属する項目（推移的関数従属）や、計算によって導出できる項目（導出属性）を排除する

第2正規形の段階ですでに第3正規形を満たしているため、第2正規形=第3正規形と言える。ただし、受注ヘッダのテーブルの合計金額は、数量×単価で算出できるものと判断し、第3正規化の段階で削除する手続きをとることが自然である。結果として、解答するための選択肢には存在しないが、実務的に考えると受注ヘッダテーブルは以下のように設計しても良い。

(受注ヘッダ)

受注番号	受注日	得意先コード
10001	2024-04-01	3011
10002	2024-04-01	1022
10003	2024-04-02	2033

よって、アが正解である。

【LEC 東京リーガルマインド コールセンター】

TEL:0570-064-464 (ナビダイヤル) 平日 9:30~20:00 土・祝 10:00~19:00 日 10:00~18:00